

に言われたとき、「弥栄」を行い、災いを転じて福となすという意味であることを説明したところ、所長は発声法は日本のものが一番よい。そのうえ哲学が入っていると喜び、以後、この「弥栄」をギルウェル訓練所の祝声とすと言った。このようにして日本「弥栄」は世界のスカウト用語となった。

ドイツ大使館付武官として赴任する前に、尾上菊五郎丈についてスマイルの勉強をし、これがボーイスカウト運動に入ってから有名な「佐野スマイル」である。

佐野常羽の残した教えには「無私」、「合作の心」、「清規三事」がある。

「清規三事」は実践行・精究教理・道心堅固であるが、語学に堪能でありこれを Activity First, Evaluation Follows, Eternal Spirit と英訳された。

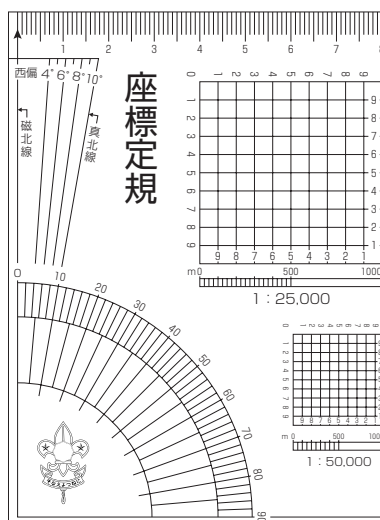
### ★サバイバル〈Survival〉

生存技術。生き残りのための原始生活技術。

用例……サバイバルキット、サバイバルナイフ

### ★座標定規〈ザヒョウジョウギ〉

地形図（1/25,000, 1/50,000）の座標読み、磁北線の記入に用いる透明プラスチック製のカード式定規。分度器やものさしにも使える。ボーイスカウトやシニアスカウトの野外活動での読図作業には欠かせないものである。自作してもよいが、日本連盟需品部で販売している。



### ★サムスティック〈Thumb Stick〉

古くは指導者が携帯していた杖。ステッキ。1912年、ベーデンパウエルが日本を訪れたとき、Y字形の二股のスティックを愛用していた。このスティックは二股に親指を掛けることからこの名になった。

佐野常羽をはじめとする、ベーデンパウエル卿に影響を受けていた人々は、那須野の実修所の入所中、周りにある木々を切り刻んで Thumb Stick（サムスティック）の製作に夢中になった。

自然愛護を重んじるスカウト指導者達が1本だけならと軽い気持ちで生木を切り刻んだものであるから、その凄じさに肝を冷やした佐野常羽は「そんなにみんなで切ってしまったら、那須野の実修所の木が1本もなくなってしまうぞ」と言ったことがある。

⇒「スカウト杖」・「団杖」参照



第2代斎藤実総長のサムスティック